

静岡TLOの特許出願一覧表 (拒絶、取下げ、譲渡済は含まず)

[] 電気・電子関連

2010.02.28. STLO事業部 技術移転部

No.	【技術分野】(大学等・発明者) 発明概要(研究成果) ライセンス情報	(STLO ケース番号) 出願番号(出願日) 公開番号(公開日)
1	<p>【真空蒸着(薄膜形成)】(沼津高専・遠山)</p> <p>本発明によれば、電熱の影響を軽減させ、上記の種々の問題点を解消することができ、真空蒸着を簡単な装置で容易に行うことができる真空蒸着方法、及び、その真空蒸着方法に用いることができる新しい蒸着ポートを提供することができる。 発明についてライセンスする企業として、真空蒸着に係わる企業が考えられる。</p>	(STLO-P-H20-01) 特願2008-064501 (H20年03月13日) 特開2009-064501 (H20年03月13日)
2	<p>【色素増感太陽電池(太陽電池)】(元静岡大学・金子ら)</p> <p>本発明では、従来技術の問題点を解決することができ、受光面積を大きくして、高光電変換効率、高出力である大面積の色素増感太陽電池を提供することができる。 共同出願人との間で不実施補償に係わる条項を含む共同出願契約を締結した。 発明についてライセンスする企業として、太陽電池に係わる企業が考えられる。</p>	(STLO-P-H19-16) 特願2007-337625 (H19年12月27日) 特開2009-158388 (H21年07月16日)
3	<p>【茎液流センサー(熱センサー)】(沼津高専・長澤)</p> <p>本発明は、ヒートパルス法のセンサーについて、従来の植物茎液流センサーの種々の問題点を解消することができ、植物の茎液流を容易に測定することができる改良されたセンサーを提供することができる。 本発明は、県内中小企業とオプション契約を締結した</p>	(STLO-P-H19-04) 特開2007-077254 (H19年03月23日) 特開2008-233047 (H20年10月02日)
4	<p>【透明電極(太陽電池)】(元静岡大学・金子ら)</p> <p>本発明は、従来技術の問題点(課題)を解決することができ、しかも高い可視光透過率を有し、ヘイズ率と抵抗率が低く、更に、シート抵抗が低い『大面積のFTO透明導電膜』、その製造方法を提供することができる。 共同出願人との間で不実施補償に係わる条項を含む共同出願契約を締結した。</p>	(STLO-P-H18-31) 特願2007-076943 (H19年03月23日) W02008/117605 (H20年10月02日) 特願2009-506250 (H21年09月15日)
5	<p>【積層電極(電池関係)】(元静岡大学・金子ら)</p> <p>本発明は、電極材料や太陽電池、燃料電池などの正極として、高耐食性、低抵抗率及び触媒特性を示す安価な電極材料、その製造方法を提供することができる。 共同出願人との間で不実施補償に係わる条項を含む共同出願契約を締結した。</p>	(STLO-P-H18-30) 特願2007-021663 (H19年01月31日) W0 2008-093675 (H20年8月7日) 特願2008-556108 (H21年07月08日)
6	<p>【回転検出(電子機器)】(静岡大学・川人)</p> <p>本発明の磁気アレイセンサ回路、及びそれを用いた回転検出装置(磁気センサ素子MAGFETを多数並べたセンサアレイを構成し、信号増幅回路、AD変換回路、デジタル信号処理回路と共に集積したセンサチップ)によれば、従来の回転検出装置における基本的なセンサ素子の『オフセットばらつき』を低減すること、及び/又は、温度等の環境変化による影響を受けないセンサ信号を読み出すことができる、前記センサの『ばらつき』の低減可能な回路構成を提供できる。 拒絶理由通知(H21.10.20.) 意見書・手続補正書(H21.12.17.)</p>	(STLO-P-H17-08) 特願2005-167127 (H17年06月07日) W02006/064687 (H18年06月22日) 特開2006-343140 (H18年12月21日)
7	<p>【回転検出(電子機器)】(静岡大学・川人)</p> <p>本発明のような差電流を取りだす回路方式は、センサ素子を順次選択して信号を読み出すため、センサに供給する電流は1素子分の電流で済み、消費電流を小さく抑えつつ信号を読み出すことができる共に、微小なセンサ電流の変化を特定の読み出し回路によって、差電流成分だけにして取り出し積分回路を利用したキャパシタへの充電によって、充分な大きさの電圧信号に変換することができるので、AD変換回路への接続、信号処理のために必要な振幅の信号を得ることができる。 拒絶理由通知(H21.10.20.) 意見書・手続補正書(H21.12.15.) 本発明は共同出願であり、共同出願人へライセンスを行う。</p>	(STLO-P-H16-34) 特願2005-019641 (H17年01月27日) W02006/064687 (H18年06月22日) 特開2006-208145 (H18年08月10日)
8	<p>【回転検出(電子機器)】(静岡大学・川人)</p> <p>本発明におけるように、特殊な配置をして並列に接続された磁気センサ素子を用いる回転検出装置によれば、シリコンチップの歪みに起因するセンサ素子のオフセット信号のバラツキを低減させることができ、高精度で回転の検出を行うことができる。 拒絶理由通知(H21.10.20.) 意見書・手続補正書(H21.12.16.) 本発明は、共同出願であり、共同出願人へライセンスを行う。</p>	(STLO-P-H16-25) 特願2004-361740 (H16年12月14日) W02006/064687 (H18年06月22日) 特開2006-170720 (H18年06月29日)
9	<p>【画像処理(電子工学)】(静岡大学・皆方)</p> <p>本発明は、非線形光学効果を有する光導波路からなる素子を用いて、赤外画像などを処理する方法(赤外イメージなどの変換法)に関するものであり、高速応答性、高分解性、波長選択性、室温作動性などの優れた効果を有している新しい赤外画像処理法に関する。 拒絶理由通知(H21.09.03.) 意見書・手続補正書(H21.11.16.)</p>	(STLO-P-H14-36) 特願2004-098297 (H16年03月30日) 特願2006-511941 (H17年03月15日) W02005/098528 (H17年10月20日)

10	<p>【電解質(電池関係)】(静岡大学・藤波ら)</p> <p>本発明の新規なりチウム塩は、特殊な物理的な特性、電気的な特性を有する新規な物質であり、『極性基を有する適当なポリマー構造材料』に分散した状態で混合させることにより、膜性を有するポリマー電解質(個体電解質)を得ることができる。また、本発明の新規なりチウム塩は、有機極製溶媒などに溶解させて液体電解質を得ることができる。</p> <p>関心を示した県外企業と秘密保持契約後本発明を開示しオプション契約を締結したが、本契約に移行しなかった。</p> <p>特許査定(H21.08.26.) 特許第4389018号(H21.10.16.)</p>	<p>(STLO-P-H16-09)</p> <p>特願2004-085180(H16年03月23日)</p> <p>特開2005-276509(H17年10月06日)</p> <p>特許第4389018号(H21年10月16日)</p>
11	<p>【磁気ヘッド(電子工)】(静岡大学・川人)</p> <p>本発明における磁石ヘッドの構造をとることによって、公知の長方形断面の磁石ヘッドを使用した場合と比較して、センサアレイ全体に一樣な磁界を印加でき、磁界強度も十分確保することが可能となった。</p> <p>特許査定(H20.09.09.)</p>	<p>(STLO-P-H15-31)</p> <p>特願2003-388754(H15年11月19日)</p> <p>特開2005-147971(H17年06月09日)</p> <p>特許第4195363号(H20年10月03日)</p>
12	<p>【回転検出装置(電気・電子関係)】(静岡大学・川人)</p> <p>本発明によれば、角度算出手段が磁気ラインセンサで検出された出力に伴う各素子特性又は付随する回路のばらつき、或いはノイズの影響を低減しつつ磁気発生手段の回転角度を算出し得るので、これらばらつきやノイズを除去すべく別途の情報処理工程が不要となり、小型の機器への組み込み、及び高精度な回転角度の検出を可能とするとともに、回転角度の算出をより素早く且つ正確に行うことができる。</p> <p>特許査定(H20.08.05) 特許第4178082号(H20.08.29.)</p>	<p>(STLO-P-H15-16)</p> <p>特願2003-200004(H15年7月22日)</p> <p>特開2005-043070(H17年2月17日)</p> <p>特許第4178082号(H20年08月29日)</p>
13	<p>【プラズマ発生(電子材料)】(静岡大学・永津)</p> <p>従来、プラズマ発生装置でダイヤモンド薄膜などを形成するには、高密度で大面積のプラズマ領域を形成することができるプラズマ発生装置が必要とされていたが、一般的なマイクロ波を用いるプラズマ発生装置(公知の装置)では大きなプラズマ領域を形成することができず、必ずしも満足できるプラズマ発生装置がなかった。</p> <p>この発明は、大面積のプラズマ領域を形成することができ、高速度で薄膜を形成できる、低コストのプラズマ発生法及びそのプラズマ発生装置を提供することを目的としている。</p> <p>本件は県内の会員企業(袋井市)とオプション契約を締結した。 本件の事業化が困難となっている。</p>	<p>(STLO-P-H15-05)</p> <p>特願2003-145863(H15年5月23日)</p> <p>特開2004-346385(H16年12月9日)</p> <p>特許第4255061号(H21年04月15日)</p>
14	<p>【半導体薄膜形成法(電子工学関係)】(静岡大学・立岡ら)</p> <p>この発明の方法は、従来、具体的な材料として存在していなかった大面積の半導体金属(FeSi₂)の結晶性薄膜層を、工業的に容易な手段により、安価に製造できる。</p> <p>共同出願の企業へ実施済み。共同出願契約を行っている。</p> <p>特許査定(H20.12.2) 特許第4241123号(H21.01.09.)</p>	<p>(STLO-P-H15-03)</p> <p>特願2003-081963(H15年3月25日)</p> <p>特開2004-289045(H16年10月14日)</p> <p>特許第4241123号(H21年01月09日)</p>
15	<p>【プラズマ発生(電子材料)】(静岡大学・永津)</p> <p>従来、一般的なマイクロ波を用いるプラズマ発生装置(公知の装置)では大きなプラズマ領域を形成することができず、必ずしも満足できるプラズマ発生装置がなかったため、この発明は、大面積のプラズマ領域を形成することができ、高速度で薄膜を形成できる、低コストのプラズマ発生法及びそのプラズマ発生装置を提供することができる。</p> <p>本件は県内の会員企業(袋井市)とオプション契約を締結した。 本件の事業化が困難となっている。</p>	<p>(STLO-P-H15-04)</p> <p>特願2003-069945(H15年03月14日)</p> <p>特開2004-281194(H16年10月07日)</p> <p>特許第3973100号(H19年06月22日)</p>
16	<p>【プラズマ発生(電子材料)】(静岡大学・永津)</p> <p>従来、半導体又は液晶パネルなどのプラズマプロセスにおいて、高密度で大面積のプラズマ源を必要とせず、マイクロ波アンテナ部の真空シール用窓材も大面積化する必要がなく、機械的耐久性、コスト面の問題を解決するプラズマ発生法及びその装置を提供する。</p> <p>拒絶査定(H20.11.04) 審判請求(H20.12.02) 審査前置解除(H21.06.12.)</p> <p>本発明は、県内の会員企業とオプション契約を締結した。 本件の事業化が困難となっている。</p>	<p>(STLO-P-H14-42)</p> <p>特願2002-369983(H14年12月20日)</p> <p>WO2004/057935(H16年7月8日)</p> <p>特開2004-200113(H16年7月15日)</p>
17	<p>【超伝導素子(電子材料)】(静岡大学・喜多ら)</p> <p>Y系超伝導体、Yb系超伝導体、Nd系超伝導体が有している欠点が改良されていて、低温で製造(製膜)できて、高い超伝導体性能を示す新しい超伝導体を提供する。</p> <p>・審査請求(H18.07.28.)</p>	<p>(STLO-P-H14-35)</p> <p>特願2002-308923(H14年10月23日)</p> <p>特願2004-546397(H15年09月19日)</p> <p>WO2004/038816(H16年5月6日)</p>
18	<p>【検査方法(電子材料)】(静岡大学・岡村)</p> <p>マイクロ波水分計測センサーを用いて、比較的少量の水分が含有及び/又は附着している物質中の水分をかなり正確に計測することができる水分の測定方法、及びその測定装置に関する。</p> <p>特許査定 特許第4019264号(H19.10.05.)</p> <p>共同出願人の企業へ実施許諾(不実施補償)を行っている。</p> <p>共願人の企業から不実施補償に係わるライセンス収入が継続してある。</p>	<p>(STLO-P-H14-16)</p> <p>特願2002-307045(H14年10月22日)</p> <p>特開2004-144513(H16年05月20日)</p> <p>特許第4019264号(H19年10月05日)</p>
19	<p>【検査方法(電子材料)】(静岡大学・岡本)</p> <p>従来は検出不能であった『レジスト印刷及びシルク印刷に覆われた導体パターン』を画像検出し、そのプリント配線基板の導体パターン欠陥を検出する方法およびその検査装置を提供する。</p> <p>拒絶理由通知(H21.12.09.2回目) 意見書・手続補正書(H24.12.28.)</p>	<p>(STLO-P-H14-24)</p> <p>特願2002-258202(H14年9月3日)</p> <p>特願2004-534134(H15年09月02日)</p> <p>WO2004/023122(H16年3月18日)</p>

20	<p>【変位測定法（電子関係）】（静岡大学・篠原）</p> <p>本半導体レーザーを用いて振動する物体の変位を測定する半導体レーザーデジタル振動変位計測装置（小型化）に係わる。</p> <p>会員企業(浜松市)とライセンス契約をしており、ライセンス料収入が継続してある。 特許査定 特許第3282746号 (H14.03.01.)</p>	<p>(STLO-P-H05-01)</p> <p>特願平05-083374 (H05年04月09日) 特開平06-294680 (H06年10月21日) 特許第3282746号 (H14年03月01日)</p>
----	--	--

〔 〕化学・バイオ・医薬関連

No.	【技術分野】(大学等・発明者) 発明概要(研究成果) ライセンス情報	(STLO ケース番号) 出願番号(出願日) 公開番号(公開日)
1	【超親水性コート剤(超親水性化合物)】(静岡大学・山下ら) 超親水性の多孔質粒状基材は、内視鏡などの光学的なガラスの表面にコートした場合に、高い超親水性と共に、可視光の透過性が優れているコート剤を容易に提供できるものである。	(STLO-P-H20-08) 特願2008-235423 (H20年09月12日) (未公開)
2	【癌検査(RNA検査法)】(浜松医科大学・金岡) 本発明は、特願2003-075552(STLO-P-H15-02)の分割出願に係わるものであり、従来、例のない糞便中のRNAを抽出して、大腸癌の診断を極めて高い感度及び特異度であって、しかも、臨床的有用度(accuracy)が優れている、特定の大腸癌のマーカー検出方法、及び、その検出方法に用いるキットに関するものである。 STLOは県外の大手企業にオプション契約済で、浜松医科大学との共同研究を行っている。	(STLO-P-H20-04) 特願2003-075552 (H15年03月19日) 特願2008-109891 (H20年04月21日) 特開2008-271969 (H20年11月13日) 特許第4206425号 (H20年10月24日)
3	【人工内耳調整法(人工内耳)】(静岡大学・北澤) 本発明の人工内耳の調整方法によれば、人工内耳を装着する患者(被聴取者)が人工内耳の装着感を改善されると共に、語音聴取精度を改善されるという効果を受容でき、その結果、自然な音声に近いものが被聴取者へ提供される。 発明についてライセンスする企業として、人工内耳に係わる企業が考えられる。	(STLO-P-H20-02) 特願2008-058566 (H20年03月07日) (未公開)
4	【茶成分合成(合成法)】(静岡県立大学・石田ら) チャフルサイド類を高い含有量で含む茶葉を容易に製造することができ、しかも、そのチャフルサイド高含有量の茶葉はアトピーなどの抗炎症作用を示す紅茶飲料として利用することができる。	(STLO-P-H19-08) 特願2007-286752 (H19年11月02日) 特願2007-308046 (H19年11月28日) (国内優先権出願) W02009/057756 (H21年05月07日) 特開2009-131161 (H21年06月18日)
5	【テアフラビン合成(合成法)】(静岡県立大学・竹元) 本発明の製造方法によれば、入手が簡単であって安価な原料と、特定の植物細胞培養物(例えば、茶細胞培養物)とを用いて、テアフラビン(TF)を高い選択率で安価に製造することができる。 県内企業とライセンス契約を完了した。	(STLO-P-H19-07) 特願2007-182217 (H19年07月11日) W0 2009/008503 (H21年01月15日) 特願2009-522685 (H21年12月28日)
6	【Fe分光装置(分析装置)】(静岡理科大学・吉田) 本発明は、収束線を用いて被測定材料中の鉄原子のメスバウア効果を分光測定する方法において、3次元のメスバウア分光測定ができる新しい測定装置を提供することができる。 審査請求(H21.10.21.)	(STLO-P-H18-26) 特願2007-129585 (H19年05月15日) W02008/143101 (H20年11月27日) 特願2009-515176 (H21年10月05日)
7	【酸化反応(化学反応)】(静岡理科大学・桐原ら) 本発明は、過酸化水素を酸化剤として用いるスルフィド化合物の酸化反応において、特定の遷移金属触媒を使用して、副生物の生成がない高い選択率で効率的にスルホキソド化合物またはスルホン化合物を得ることができる酸化方法を提供することができる。 未審査請求中	(STLO-P-H18-32) 特願2007-077540 (H19年03月23日) 特開2008-239490 (H20年10月09日)
8	【わさびの機能(機能性食品)】(静岡県立大学・木苗ら) 本発明によれば、わさびの成分による特定の抗酸化性(例えば、抗ピロリ菌効果)と共に、ストレスに係わる特定の障害抑制効果を示す抗ストレス剤を提供することができる。 未審査請求中	(STLO-P-H18-19) 特願2007-068859 (H19年03月16日) 特開2008-230975 (H20年10月02日)
9	【塩耐性形質変換(カルス細胞関係)】(静岡県立大学・小林ら) 本発明は、本発明は、脱分化カルスを用いることにより、細胞の耐塩性機構を解明すると共に、その原因遺伝子を同定して明らかにすること、並びに、耐塩性変位系統を効率よく選抜できる方法、遺伝子構築物(プラスミドなど)、耐塩性形質転換植物細胞(形質変換カルス細胞)、及び耐塩性形質変換植物体を提供することができる。 未審査請求中	(STLO-P-H19-09) 特願2007-065450 (H19年03月14日) 特開2008-220303 (H20年09月25日)
10	【酸化反応(マイクロリアクター)】(静岡理科大学・桐原ら) 本発明は、特定の反応器内で、過酸化水素を酸化剤として用いるスルフィド化合物の酸化反応において、触媒量を減少させるか、もしくは触媒を使用しないで、副生物の生成が実質的に少ない(又は副生物の生成がない)高い選択率、効率でスルホキソド化合物を得ることができる、スルホキソド化合物の製造方法を提供することができる。 未審査請求中	(STLO-P-H18-29) 特願2007-053381 (H19年03月02日) 特開2008-214257 (H20年09月18日)
11	【生体成分被覆無機材料(被覆無機材料)】(静岡県立大学・伊吹ら) 本発明のDNA被覆無機基材(金属粒子基材など)は、極めて簡単に製造することができ、しかも、DNA被覆無機基材が処理溶液(処理気体)中で凝集性が少なく分散性がよいので、溶液中の環境汚染物質などを被処理液(非処理気体)中から効果的に吸着でき、分解除去することができる。 未審査請求中	(STLO-P-H18-24) 特願2007-038707 (H19年02月20日) 特開2008-200594 (H20年09月04日)
12	【新規酵素(遺伝子操作)】(静岡県立大学・丹羽ら) 本発明は、柑橘類のゲノムから cDNAから得られない新規な遺伝子を探索するなどの遺伝子操作で単離することで得られた新規なモノテルペンの合成酵素の調製方法、その新合成酵素の遺伝子、新合成酵素などを提供することができる。 未審査請求中	(STLO-P-H18-28) 特願2007-018804 (H19年01月30日) 特開2008-182950 (H20年08月14日)

13	<p>【網膜検査(眼底画像)】(浜松医科大学・寺川)</p> <p>本発明によれば、従来公知の網膜画像データの表示装置を、緑内障、色覚異常、眼底出血などのように網膜に係わる眼疾患を有する患者に適用して痲疾患の状況を測定する場合に生じる問題点(視細胞の損傷による視野欠損等を精度よく検査することが困難であると共に、ボタン式の視野系の場合、測定に時間がかかって患者への負担が増加しやすい)を解消することができる。高い精度で網膜の視野欠損状態の像を得ることができる。</p> <p>ライセンス先候補の企業は、県内外の医療機器関係企業などがある。</p> <p>審査請求(H21.05.11.)</p>	<p>(STLO-P-H18-11)</p> <p>特願2006-268381 (H18年09月29日)</p> <p>特開2008-086412 (H20年04月17日)</p>
14	<p>【健康食品(AGEs生成抑制)】(静岡県立大学・木苗ら)</p> <p>本発明によれば、アミノ酸と還元糖とのメイラード反応を抑制し、しかも、終末糖化産物(AGEs)の生成及び蓄積を抑制することができる天然由来の成分を見出し、その成分を有効成分とする健康食品を提供し、その健康食品を補助的に食することによって、ADEsに由来する疾患を予防する可能性がある。</p> <p>本発明は、共同出願人に対して不実施補償に基づく実施許諾をしている。</p> <p>審査請求(H21.05.22.)</p>	<p>(STLO-P-H18-17)</p> <p>特願2006-167353 (H18年06月16日)</p> <p>特開2007-330191 (H19年12月27日)</p>
15	<p>【腎機能(腎診断方法)】(元浜松医科大学・山本)</p> <p>この発明によれば、尿中アンジオテンシンノーゲン(Ao)濃度と腎機能の低下リスクなどとの相関を用いて、腎機能(糸球体濾過半減退及び/又は透析必要性の危険率)の病態進行の可能性を予測したり、腎機能を評価することができる。</p> <p>審査請求(H20.11.21.)</p>	<p>(STLO-P-H18-16)</p> <p>特願2006-161433 (H18年06月09日)</p> <p>特開2007-327921 (H19年12月20日)</p>
16	<p>【ZnCP合成(PDT増感剤)】(浜松医科大学・金山)</p> <p>本発明の製造法によれば、PDT用増感剤として有用であるZnCP-錯体を、かなり大量に工業的に製造することができる。前記のPDT用増感剤は、光によって活性酸素を発生し、癌などの治療を行うことができるものであり、本発明におけるZnCP-錯体は、生体内で短時間で分解する『Coproporphyrin化合物(CP化合物)』であり、そのZnCP-錯体(又はその水溶液)を工業的に得ることができる製法を提供できる。</p> <p>特願2008-520532 (H19.01.06.) 審査請求中</p>	<p>(STLO-P-H18-06)</p> <p>特願2006-155129 (H18年06月02日)</p> <p>WO2007/142132 (H19年12月13日)</p> <p>特願2008-520532 (H19年01月06日)</p>
17	<p>【カテーテル(光音響効果)】(浜松医科大学・寺川)</p> <p>本発明によれば、エバネッセント光又は通常光を吸収する血液中や血管壁中の薬剤や生体物質の濃度を、患者に負担を強いることなく経時的に迅速で精度よく検出ことができ、例えば、本発明でエバネッセント光を用いる場合は、エバネッセント光が発生している表面近傍の数百nm付近に存在し、通常光のように空間を伝播することがないので、血液中では直径約8µmの赤血球中に存在するヘモグロビンの影響をほとんど受けず、血漿中の光吸収物質を測定でき、また、カテーテルを血管壁に接触させることで、血管壁表面に存在する光吸収物質を測定できる。</p> <p>ライセンス先候補の企業は、県内の医療機器関係企業などがある。</p>	<p>(STLO-P-H18-10)</p> <p>特願2006-137293 (H18年05月17日)</p> <p>特開2007-307007 (H19年11月29日)</p>
18	<p>【形質変換(カルス細胞関係)】(静岡県立大学・小林ら)</p> <p>本発明の形質変換カルス細胞により、従来のカルス細胞(黄白色カルス細胞)では生産できなかった有用物質の生産が可能となる。</p> <p>また、カルス細胞を培養して有用物質を生産する場合に、糖などを添加せずとも水と無機塩から光合成により有用物質の合成が可能となり、有用物質の生産コストを軽減を図ることができる。</p> <p>審査請求(H20.01.30.)</p>	<p>(STLO-P-H17-30)</p> <p>特願2006-069547 (H18年03月14日)</p> <p>特開2007-244240 (H19年09月27日)</p>
19	<p>【スルフィド合成(化学反応)】(静岡理工科大学・桐原ら)</p> <p>本発明のスルフィド化合物の製造方法によれば、酸素、過酸化物等の酸化剤が触媒的に用いられる酸化反応であるので、副生成物が少なく、環境に優しい酸化反応であり、スルフィド化合物を高収率で製造することができるという効果を奏することができる。</p> <p>審査請求(H20.01.18.)</p>	<p>(STLO-P-H18-05)</p> <p>特願2006-064265 (H18年03月09日)</p> <p>特開2007-238517 (H19年09月20日)</p>
20	<p>【光治療法(PDT医療)】(浜松医科大学・金山)</p> <p>本発明のPDT用薬剤キット又はPDT用薬剤を用いることによって、生体内で短時間で分解する『Coproporphyrin化合物(CP化合物)』を含有するPDT用薬剤が光によって活性酸素を発生させることによる『PDT治療効果(Depth of necrosis効果など)』を高いレベルにすることができ、その結果、PDT用薬剤の使用量をかなり少なくすることができるという効果を有するものである。</p> <p>特願2007-559960 (H19.01.24.) 審査請求(H22.01.20.)</p>	<p>(STLO-P-H17-26)</p> <p>特願2006-015530 (H18年01月24日)</p> <p>特願2007-559960 (H19年01月24日)</p> <p>WO2007/086395 (H19年08月02日)</p>
21	<p>【製薬法(製薬関係)】(静岡県立大学・竹元)</p> <p>本発明によれば、茶培養細胞を用いて、テアフラビン(TF)、テアフラビン3-O-ガラート(TF3-G)、テアフラビン3'-O-ガラート(TF3'-G)、テアフラビン3,3'-ジ-O-ガラート(TFDG)などのトコポノイド骨格を有するテアフラビン類を高い収率及び高い選択率で安価に合成することができる。</p> <p>本発明は、県内の化学薬品関係企業へオプション契約を締結して、その企業と共同研究中である。</p>	<p>(STLO-P-H17-25)</p> <p>特願2005-342473 (H17年11月28日)</p> <p>特開2007-143461 (H19年06月14日)</p>
22	<p>【光毒性物質(検査関係)】(静岡県立大学・伊吹ら)</p> <p>本発明の検知法によれば、紫外線(UVA)と特定の化合物(感光剤)との複合暴露(coexposure)によって生体の組織においてDNA二本鎖切断(DSB)を生じたことを、高い感度で検査することができ、結果的に、種々の化合物における光毒性(発現性)を高感度で検出することができる。</p> <p>審査請求(H20.02.01.)</p>	<p>(STLO-P-H17-13)</p> <p>特願2005-240702 (H17年08月23日)</p> <p>特開2007-053926 (H19年03月08日)</p>

23	<p>【癌検査(RNA検査法)】(浜松医科大学・金岡)</p> <p>この発明の方法は、従来、例のない糞便中のRNAを抽出して、大腸癌の診断を極めて高い感度及び特異度であって、しかも、臨床的有用度(accuracy)が優れている、特定の大腸癌のマーカー検出方法、及び、その検出方法に用いるキットに関するものである。 STLOは県外の大手企業とオプシオン契約済 ランセンス契約済(H21.12.22.)で、浜松医科大学との共同研究も検討中である。 特願2007-529617 (H18.06.10.) 審査請求(H20.12.01.)</p>	<p>(STLO-P-H17-20)</p> <p>特願2005-231972 (H17年08月10日)</p> <p>特願2007-529617 (H18年06月10日)</p> <p>WO2007/018257 (H19年02月15日)</p>
24	<p>【酸化反応(化学反応)】(沼津高専・押川)</p> <p>本発明によれば、二酸化チタンのような光半導体触媒を用いて一級又は二級アルコール化合物、或いはアルキルベンゼン類を酸化してカルボニル基を有する化合物を容易に生成させることができる、簡便で安全な反応条件での新しい光酸化方法を提供することができる。 審査請求(H20.01.24.)</p>	<p>(STLO-P-H17-05)</p> <p>特願2005-149954 (H17年05月23日)</p> <p>特開2006-327946 (H18年12月07日)</p>
25	<p>【腎機能(酵素定量法)】(元浜松医科大学・山本)</p> <p>本発明によれば、腎機能データなどとの高い相関を示すような、アンジオテンシノーゲンを高い精度で測定する測定剤を提供することができる。 審査請求(H20.01.31.)</p>	<p>(STLO-P-H16-38)</p> <p>特願2005-107326 (H17年04月04日)</p> <p>特開2006-280320 (H18年10月19日)</p>
26	<p>【診断マーカー(診断法)】(沼津高専・蓮實)</p> <p>本発明は、従来の便鮮血法と比較して、優れた診断効果を示す、糞便中の特定成分を診断マーカーとする大腸腫瘍の診断方法、並びに、診断キットを提供するものである。 審査請求(H20.02.06.) 拒絶理由通知(H22.01.19.)</p>	<p>(STLO-P-H17-06)</p> <p>特願2005-102832 (H17年03月31日)</p> <p>特開2006-284298 (H18年10月19日)</p>
27	<p>【唾液成分(健康度判別法)】(静岡県立大学・高木ら)</p> <p>本発明によれば、一定のストレスを与えられた被検者の唾液中の特定成分の変化を指標として、被検者の健康状態を判別することができる新しい健康度判別方法、及び、健康度判別装置を提供することができる。 特許査定(H21.2.3) 特許第4274492号(H21.06.10.)</p>	<p>(STLO-P-H17-03)</p> <p>特願2005-081585 (H17年03月22日)</p> <p>特開2006-266720 (H18年10月05日)</p> <p>特許第4274492号(H21年06月10日)</p>
28	<p>【PDT用薬剤(医薬関係)】(浜松医科大学・金山ら)</p> <p>本発明のPDT用薬剤は、光によって活性酸素を発生する効果を示すと共に、生体内で短時間で分解する『Coproporphyrin化合物(CP化合物)』を含有する安定なCP化合物水溶液からなる優れたPDT用薬剤を全く新たに提供できたこと、ならびに、本発明の薬剤の調製法は、前記の薬剤を工業的に再現性よく得ることができる新しいCP化合物水溶液の調製法を提供することができたという効果を有するものである。 特願2006-552070(H18.01.12.) 審査請求(H20.01.24.)</p>	<p>(STLO-P-H15-46)</p> <p>特願2005-008341 (H17年01月14日)</p> <p>特願2006-552970 (H18年01月13日)</p> <p>WO2006/075678 (H18年07月20日)</p>
29	<p>【貝毒検査(検査法)】(静岡県立大学・石田)</p> <p>本発明は、試料中に存在する貝毒の成分の1種のブレベトキシン-B2(BTX-B2)を高い精度で定量する方法を提供するものである。 特許査定(H21.1.15) 特許第4258815号(H21.02.20.)</p>	<p>(STLO-P-H16-26)</p> <p>特願2004-349562 (H16年12月02日)</p> <p>特開2006-162263 (H18年06月22日)</p> <p>特許第4258815号(H21年02月20日)</p>
30	<p>【酸化反応(化学反応)】(沼津高専・押川)</p> <p>本発明の酸化反応は、従来の不飽和化合物の酸化反応において、エポキシド誘導体を高い収率で得ることができなかった場合でも、高い収率でエポキシド誘導体を得ることができると共に、特殊な触媒を用いることによって高い収率でエポキシド誘導体を得ることができるので経済的であり、特殊な反応装置、精製装置も不要であり、環境的にも好適な酸化反応方法である。 審査請求(H19.02.07.)</p>	<p>(STLO-P-H16-05)</p> <p>特願2004-127765 (H16年04月23日)</p> <p>特開2005-306803 (H17年11月04日)</p>
31	<p>【抗ストレス法(医療関係)】(静岡県立大学・石田)</p> <p>本発明におけるIgA産生恒常化剤、それを含有する組成物は、人、家畜などの動物が食品として食べたり、飲んだりすることによって、動物について抗ストレス性(人、家畜などの動物の胃腸におけるストレス症候群を、改善したり、予防することができる性能)を有する一種の健康食品に係わるものである。 審査請求 拒絶理由通知(H21.08.04.) 意見書・手続補正書(H21.10.13.) 拒絶査定</p>	<p>(STLO-P-H15-55)</p> <p>特願2004-066936 (H16年03月10日)</p> <p>特開2005-255574 (H17年09月22日)</p>
32	<p>【有機物分解(化工関係)】(静岡大学・佐古ら)</p> <p>悪臭を出す牛などの糞尿を処理して無害な成分(例えば、水、炭酸ガス、窒素ガス)に分解する方法を提供する。 特願2003-033024(No.13)を国内優先権主張して出願した。 特願2004-035575 (H16.02.12.) 特許第3823133号(H18.07.07.)</p>	<p>(STLO-P-H14-34)</p> <p>特願2003-033024 (H15年02月12日)</p> <p>特願2004-035575 (H16年02月12日)</p> <p>特開2004-261802 (H16年09月24日)</p> <p>特許第3823133号(H18年07月07日)</p>
33	<p>【貝毒成分(貝毒関係)】(静岡県立大学・石田)</p> <p>本発明における化合物(BTX-B5)は、神経性貝毒の成分のブレベトキシン類の1種である新規な化合物であり、この発明の製造法でこの新規な化合物が合成できると共に、この発明の検定方法では、この新規な化合物を神経性貝毒成分のマーカーとして用いて貝毒成分を定量する新しい方法を提供することができる。 特願2005-515817 審査請求(H19.02.07.)</p>	<p>(STLO-P-H15-41)</p> <p>特願2003-399683 (H15年11月28日)</p> <p>特願2005-515817 (H16年11月26日)</p> <p>WO2005/051956 (H17年06月09日)</p>
34	<p>【表面処理法(医療機器関係)】(静岡大学・山下ら)</p> <p>本発明の製法は、フッ素樹脂製、ガラス製の医療機器材料(例えば、人工血管など)の表面を活性化して、スパーサー化合物を介して、硫酸化及びアンモニウム化されているキトサン誘導体が結合されている、優れた超親水性が付与されたフッ素樹脂製、ガラス製の機器材料などを容易に製造することができる。 特許査定 特許第3973037号(H19.06.22.)</p>	<p>(STLO-P-H15-19)</p> <p>特願2003-367928 (H15年10月28日)</p> <p>特開2005-132877 (H17年05月26日)</p> <p>特許第3973037号(H19年06月22日)</p>

35	<p>【表面処理法(医療機器関係)】(静岡大学・山下ら)</p> <p>本発明の超親水性組成物は、ガラス製医療材料(例えば、人工血管など)の表面にコーティングすることによって、優れた超親水性コーティング層を形成することができる親水性組成物(コーティング剤)に係わるものであり、そして、その親水性組成物をガラス表面にコーティングすることによって、超親水性が付与された医療材料などを容易に製造することができる。 特許査定 特許第3855030号(H18.09.22.)</p>	<p>(STLO-P-H15-18)</p> <p>特願2003-367927(H15年10月28日) 特開2005-132876(H17年05月26日) 特許第3855030号(H18年09月22日)</p>
36	<p>【ストレス測定(医療関係)】(静岡県立大学・石田)</p> <p>本発明のストレス測定方法によれば、ストレス量を高感度で正確に、かつ短時間で簡便に測ることができ、このようなストレス測定方法は現代のストレス社会において、ストレスが大きく影響する慢性疾患や弊害などの予防を行う上で、大きく役立つことが期待される。 特許査定(H20.11.11.) 特許第4238985号(H21.01.09.)</p>	<p>(STLO-P-H15-54)</p> <p>特願2003-319090(H15年09月10日) 特開2005-081019(H17年03月31日) 特許第4238985号(H21年01月09日)</p>
37	<p>【微小循環改善(食品)】(静岡県立大学・石田)</p> <p>本発明のストレス性微小循環不全改善剤は、生体のバランスを良好に保ち、あるいはストレスにより損なわれたバランスを元に戻す復元的な効果を有し、また、特に皮膚に現れるストレスの悪影響を改善、軽減又は予防する働きを有するものであり、しかも、作用が緩和であり、安全で副作用も少ないので、現代のストレス社会において、ストレスが大きく影響する慢性疾患や弊害などの予防を行う上で、大きく役立つことが期待される。 審査請求(H18.02.20.) 拒絶理由通知(H21.09.01.) 意見書・手続補正書(H21.10.30.)</p>	<p>(STLO-P-H15-53)</p> <p>特願2003-319089(H15年09月10日) 特開2005-082562(H17年03月31日)</p>
38	<p>【表面処理法(医療機器関係)】(静岡大学・山下ら)</p> <p>本発明は、樹脂成形品(例えば、人工血管など)の表面を処理して特定の化合物で修飾することによって、表面特性(親水性など)を改善することができ、例えば人工血管などの医療機器への適用ができる。 審査請求(H18.02.13.) 拒絶理由通知 意見書・手続補正書(H21.10.02.)</p>	<p>(STLO-P-H14-29)</p> <p>特願2003-312580(H15年09月04日) 特開2005-080689(H17年03月31日)</p>
39	<p>【酵素の製法(バイオ関係)】(静岡大学・渡邊ら)</p> <p>本発明は、中国系バラに特有な香気成分1,3,5-trimethoxybenzeneの生合成経路においてkey enzymeであるphloroglucinol 0-methyltransferase (POMT)のアミノ酸配列を決定し、そのPOMTのアミノ酸配列をコードする正確な塩基配列を確定した『POMTのcDNA遺伝子』を提供すると共に、そのcDNA遺伝子をクローン化した組み換えDNAを発現させた細胞を用いて、phloroglucinolから3,5-dihydroxyanisoleを製造する新しい方法を提供することである。 拒絶理由通知 意見書・手続補正書(H20.12.04) 特許査定(H21.1.13) 特許第4258805号(H21.02.20.)</p>	<p>(STLO-P-H15-13)</p> <p>特願2003-284417(H15年7月31日) 特開2005-052028(H17年3月3日) 特許第4258805号(H21年2月20日)</p>
40	<p>【人工内耳(医療機器)】(静岡大学・北沢、医大 岩崎)</p> <p>本発明は、オーストラリアなどにおいて研究・開発されている『人口内耳』において、新しい音声変換方式を採用することによって、より自然な音声に近い電子データを被聴取者の人口内耳へ供給することができるシステムを提供することを目的としている。本発明の音声変換方法によれば、音声変換を短い時間で、多数の電気的なデータを被聴取者の人工内耳へ提供することができ、その結果、自然な音声に近いものを被聴取者へ提供できる。 本発明は、海外企業が関心を示しており、その企業に対する技術移転の検討を開始している。</p>	<p>(STLO-P-H15-10)</p> <p>特願2003-206405(H15年08月07日) 特願2005-512930(H16年08月03日) W02005/013870(H17年02月17日) 特許第4295765号(H21年07月15日)</p>
41	<p>【新規化合物(有機材料)】(静岡大学・田中ら)</p> <p>本発明は、種々の液晶材料、非線形性材料、医薬品、精密化学品の原料のとして利用することができる新しい光学活性なヘリセン系化合物を提供すると共に、それらの化合物を合成する新しい製造法を提供することを目的としている。 拒絶理由通知(H21.10.13.) 意見書・手続補正書(H21.11.13.) 特許査定(H22.01.05.)</p>	<p>(STLO-P-H15-09)</p> <p>特願2003-184676(H15年6月27日) 特開2005-015427(H17年1月20日)</p>
42	<p>【抗体製法(バイオ関係)】(静岡県立大学・今井ら)</p> <p>この発明は、結果的に、IgA型モノクローナル抗体の生産効率を高めることができる優れた方法である。 特願2005-506347(H16年5月20日) 審査請求(H19.01.18.)</p>	<p>(STLO-P-H14-25)</p> <p>特願2003-146253(H15年5月23日) W02004/104044(H16年1月22日) 特願2005-506347(H16年5月20日)</p>
43	<p>【酵素製法(バイオ関係)】(静岡大学・朴ら)</p> <p>発明は、先願のような昆虫細胞の形質変換手段を使わず、ポリラクトサミン鎖の伸長に関与するとされており、大量生産が困難とされている『ヒト由来 1,3-N-アセチルグルコサミンニルトランスフェラーゼ2(3GnT2)』の融合タンパク質を、収率良く、大量生産する新しい方法を提供するものである。県外企業が関心を示している。 7(STLO-P-H14-32)と併合してPCT出願 特願2005-510281(H15年11月19日) 拒絶理由通知(H21.06.01.) 意見書・手続補正書(H21.07.31.) 特許第4376866号(H21.09.18.)</p>	<p>(STLO-P-H15-12)</p> <p>特願2003-145381(H15年5月23日) W02004/048562(H16年6月10日) 特願2005-510281(H15年11月19日) 特許第4376866号(H21.09.18.)</p>
44	<p>【製剤(医薬関係)】(静岡県立大学・園部ら)</p> <p>この発明によれば、極めて微細な粒子状の薬剤が長期保存可能であり、これを再水和した場合に、凍結乾燥前の平均粒子径を再現した微粒子懸濁液を得ることができるという作用効果を有する。これにより、この製剤は薬物の溶解促進と、広く注射剤などへの展開が期待できる。 拒絶理由通知(H21.01.13.) 意見書・手続補正書(H21.03.13.)</p>	<p>(STLO-P-H15-01)</p> <p>特願2003-122392(H15年4月25日) 特開2004-323444(H16年11月18日)</p>
45	<p>【新規高分子物質(バイオマス)】(沼津高専・押川)</p> <p>本発明は、キトサンが本来有する性質を保持すると共に、新しい特性を示すものが求められているが、その新しい特性を示すキトサン由来のものがあまり得られていないという問題を解決することを目的としている。天然素材中のあるポリマー成分の変性物であり、特殊な特性を有する吸水性材料(医療関係の止血材等)として利用できる。 特許査定(H20.12.09.) 特許第4247523号(H21.01.23.)</p>	<p>(STLO-P-H14-27)</p> <p>特願2003-117525(H15年4月22日) 特開2004-323385(H16年11月18日) 特許第4247523号(H21年1月23日)</p>

46	<p>【造影剤(医療関係)】(静岡大学・山下ら)</p> <p>本発明は、現在公知のGD-DTPA(ガドリウム-ジエチレントリアミン五酢酸)MRI造影剤よりも安定で、造影効果の高い、GD-DTPA誘導体からなる新規な化合物、Gd-DTPA dendrimer、及び、そのMRI造影剤であり、クラスター効果によって肝細胞へのターゲティングがより高い効果を示し、造影効果も高いものであった。 拒絶査定(発送日:H21.3.3.) 審判(不服)請求2009-7133(H21.04.02.) 審査前置解除</p>	<p>(STLO-P-H14-53) 特願2003-099222 (H15年4月2日) 特開2004-307356 (H16年11月4日)</p>
47	<p>【癌診断法(バイオ関係)】(浜松医科大学・金岡)</p> <p>この発明の方法は、従来、例のない糞便中のRNAを抽出して、大腸癌の診断を極めて高い感度でしかも容易に行うことができるマーカー検出方法、および、その検出方法に用いるキットに関するものである。 STLOは県外の大手企業とオプション契約済 ランセンス契約済(H21.12.22.)で、浜松医科大学との共同研究も検討中である。</p>	<p>(STLO-P-H15-02) 特願2003-075552 (H15年3月19日) WO2004/083856 (H16年9月19日) 特許第4134047号 (H20年6月6日)</p>
48	<p>【有機物分解(化工関係)】(静岡大学・佐古ら)</p> <p>悪臭を出す牛などの糞尿を処理して無害な成分(例えば、水、炭酸ガス、窒素ガス)に分解する方法を提供する。 国内優先権主張出願による取下げ 特願2003-033024(取下げ) 特願2004-035575 特開2004-261802 特許第3823133号(H18.07.07.)</p>	<p>(STLO-P-H14-34) 特願2003-033024 (H15年02月12日) (取下げ) 特開2004-261802 (H16年09月24日) 特許第3823133号 (H18年07月07日)</p>
49	<p>【ベクター(バイオ)】(静岡大学・朴ら)</p> <p>AcNPVと同様に簡便なシステムを確立することができ、更に、煩雑な作業と長い時間を要することがない、BmPNVに適用できる外来遺伝子発現系の構築に係わる簡便なシステムである。 特願2002-340005 特開2004-173507 特許査定(H21.02.17.) 特許第4288389号(H21.07.01.)</p>	<p>(STLO-P-H14-45) 特願2002-340005 (H14年11月22日) 特開2004-173507 (H16年6月24日) 特許第4288389号 (H21年7月1日)</p>
50	<p>【酵素製法(バイオ)】(静岡大学・朴ら)</p> <p>ポリラクタサミン鎖の伸長に関与するとされている、大量生産が困難であった『ヒト由来1,3-N-アセチルグルコサミニルトランスフェラーゼ2(3GnT2)』を、大量生産する方法を提供する。 No.21(STLO-P-H15-12)と併合してPCT出願 特願2005-510281 (H15年11月19日) 拒絶理由通知(H21.06.04.) 意見書・手続補正書(H21.07.31.) 特許第4376866号</p>	<p>(STLO-P-H14-32) 特願2002-340004 (H14年11月22日) WO2004/048562 (H16年6月10日) 特願2005-510281 (H15年11月19日) 特許第4376866号 (H21年9月18日)</p>
51	<p>【新規化学物質(医薬関連)】(静岡大学・山下ら)</p> <p>新規な反応によるものであり、この合成法によって、高収率と高立体特異性の化合物を得ることができる。 拒絶査定(H21.06.23.) 審判請求 登録査定(H21.11.30.) 特許第4417616号(H21.12.04.)</p>	<p>(STLO-P-H14-05) 特願2002-258160 (H14年9月3日) 特開2004-091435 (H16年3月25日) 特許第4417616号 (H21年12月4日)</p>

〔 〕機械、医療関係・その他

No.	【技術分野】(大学等・発明者) 発明概要(研究成果) ライセンス情報	(STLO ケース番号) 出願番号(出願日) 公開番号(公開日)
1	<p>【背もたれクッション(流体クッション)】(福祉機器関係)(静岡大学・森田) 本発明は、背もたれ及びこれを使用する流体クッションに関するものであり、特に、流体としてジェル状材等の非ガス体を使用した背もたれ用クッションを主な対象としている。 発明は、椅子などの家具関係、事務機器関係に係る大手企業へ技術移転を行うこと等を検討している。 本願は、関西の大手事務機器関係の企業等と共同出願しており、不実施補償を含む共同出願</p>	<p>(STLO-P-H21-03) 特願2009-116089 (H21年05月13日) (未公開)</p>
2	<p>【座用クッション(流体クッション)】(福祉機器関係)(静岡大学・森田) 本発明は、柔軟な袋体に液体(例えば、水)のような流体を充填(封入)した座用流体クッション、及びこれを備えた椅子に関するものである。 発明は、椅子などの家具関係、事務機器関係に係る大手企業へ技術移転を行うこと等を検討している。 本願は、関西の大手事務機器関係の企業等と共同出願しており、不実施補償を含む共同出願</p>	<p>(STLO-P-H21-02) 特願2009-103291 (H21年04月21日) (未公開)</p>
3	<p>【弾性クッション(椅子用クッション)】(福祉機器関係)(静岡大学・森田) 本発明は、流体クッションと組合せて使用される弾性クッション、及び流体クッションと弾性クッションとを組合せた身体支持装置(例えば、椅子の座部・背もたれ部・ヘッドレスト・アームレストが挙げられる)に関するものである。 発明は、椅子などの家具関係、事務機器関係に係る大手企業へ技術移転を行うこと等を検討している。 本願は、関西の大手事務機器関係の企業等と共同出願しており、不実施補償を含む共同出願</p>	<p>(STLO-P-H21-01) 特願2009-103290 (H21年04月21日) (未公開)</p>
4	<p>【背もたれ(福祉機器)】(静岡大学・森田) 本発明の液体内蔵型クッションは、椅子などの背もたれ部などの傾斜面又は垂直面に配設したできる構成を有しており、充填されている液体が重力によってクッションの下部に著しく集まって効果的な体圧分散を困難にすることがなく、更に、人が椅子に着座して背もたれ部に寄りかかる場合に、その人の姿勢変化に滑らかに追従し、良好に体圧分散させることができるといふ効果を奏する。 本願は共同出願であり、不実施補償付きの共同出願契約を締結している。 発明について県外の健康機器製造企業へ実施権許諾契約を締結した。 未審査請求中</p>	<p>(STLO-P-H19-18) 特願2007-286051 (H19年11月02日) WO 2009/057326 (H21年05月07日)</p>
5	<p>【寝具用クッション(福祉機器)】(静岡大学・森田ら) この発明の寝具用クッションは、構造的に簡単であって、従来のウォーターマットに対してかなり軽量であると共に、使用者がこのクッション上に寝た場合に体位を変換させることが容易であり、体圧分散が効果的に行われ、液体の流動が体位の変換に対応することができる、新タイプの寝具用ウォータークッションを提供することができる。 本願は共同出願であり、不実施補償付きの共同出願契約を締結している。 県内外のそれぞれの企業とライセンス契約を完了した。 未審査請求中</p>	<p>(STLO-P-H19-14) 特願2007-167741 (H19年06月26日) WO2009/001567(H20年12月31日) 特願2009-520358 (H21年12月25日)</p>
6	<p>【エンドミル(切削工具)】(沼津高専・柳下) 本発明の偏心回転式穴あけ加工装置によれば、CFRPなどの繊維強化樹脂の積層体に開孔部を形成する際に、特殊な切削ドリル(かなり高価なドリル)を極めて長期間使用することができ、また、優れた特性(切削面が実質的に平滑面である)を有する、穴あけされた大口径の多数の穴を有するCFRP(カーボンファイバー強化樹脂)の積層体を得ることができる。その超音波切削で得られた穴あけ部を多数有する繊維強化積層体は、その穴あけ部の内面が高度に平滑であり、結果的に高い耐久性を有するという点で優れている。 未審査請求中</p>	<p>(STLO-P-H19-06) 特願2007-132689 (H19年05月18日) WO 2008/146462 (H20年12月04日) 特願2009-516172 (H21年11月19日)</p>
7	<p>【簿記問題(問題作成プログラム)】(元静岡県立大学・福田ら) 本発明における『簿記教材作成プログラム』は、簿記関係者が自作の簿記問題を指定された記述法で『Microsoft Word』で記述するだけで、日本商工会議所簿記検定(以下、日商簿記検定という。)3級程度の簡単な簿記問題などを作成できると共に、試算表、財務諸表、精算表などを作成することができ、しかも、正誤判定と採点機能を備えたシステムを提供できる。 未審査請求中</p>	<p>(STLO-P-H18-23) 特開2007-056432 (H19年03月06日) 特開2008-216821 (H20年09月18日)</p>
8	<p>【着座用クッション(新型マット)】(静岡大学・森田ら) この発明の着座用クッションは、例えば、使用者が着座した場合に一般的な体圧分散効果(座圧分散効果)を有しており、特に、使用者が着座して前屈みになったり、後ろに体重を掛けたりした場合などに、その座圧の変動に従って液体がクッション全体にわたって流動すると共に、クッション内の座圧も変動する、新しいウォータークッションタイプの着座用クッションを提供することができる。 ライセンス先候補の企業は、県内外の企業へ技術移転している。 審査請求(H20.12.16.)</p>	<p>(STLO-P-H18-13) 特願2006-220108 (H18年08月11日) 特開2008-043429 (H20年02月28日)</p>
9	<p>【新中敷(履物関係)】(静岡大学・森田) 本発明の靴底用中敷によれば、歩行タイミングに合致して必要な部位への理想的な液体の移動を実現させて、足裏に対する衝撃の緩和を図ることができ、踵領域から流動する液体(水等)が中間領域略全域にて渦流を形成させるので、その部位において厚み方向に一層膨らませて、足裏の土踏まずに対する押圧効果を充分に行わせることができる靴底用中敷(インソール)を提供することができる。 本件のライセンスは、企業は、共同出願人、その他の企業がある。 未審査請求中</p>	<p>(STLO-P-H18-07) 特願2006-134853 (H18年05月15日) 特開2007-301275 (H19年11月22日) WO2007/132567 (H19年11月22日)</p>

10	<p>【球体面検査(静電容量測定)】(静岡大学・松田ら)</p> <p>本発明の粗研削鋼球等の表面傷の検出方法によれば、研削又は研磨加工において加工された粗研削鋼球等の表面傷の検出を比較的容易に行うことができ、その結果、ある大きさの表面傷を検出して粗研削鋼球等の良否の自動選別を行うことができる。 審査請求(H20.02.08.)</p>	<p>(STLO-P-H18-03) 特願2006-073350 (H18年03月16日) 特開2007-248310 (H19年09月27日)</p>
11	<p>【開孔切削法(超音波切削)】(沼津高専・柳下)</p> <p>本発明の超音波振動切削法によれば、CFRPなどの繊維強化樹脂に開孔部を形成する際に、特殊な切削ドリル(かなり高価なドリル)を極めて長期間使用することができ、また、優れた特性(切削面が実質的に平滑面である)を有する、多数開孔したCFRP(カーボンファイバー強化樹脂積層体など)を得ることができる。 審査請求(H20.11.20.)</p>	<p>(STLO-P-H17-24) 特願2005-340945 (H17年11月25日) 特開2008-183626 (H20年08月14日) W02007/061044 (H19年05月31日)</p>
12	<p>【吸音装置(吸音システム)】(沼津高専・松村)</p> <p>本発明によれば、空気で作動するロボット、福祉機器などにおける空気の騒音を減少させることができる新しい形式のフェードイン発生装置が組み込まれた高性能の空気サイレンサを提供することができる。 審査請求(H20.02.19.)</p>	<p>(STLO-P-H17-18) 特願2005-284406 (H17年09月29日) 特開2007-092910 (H19年04月12日)</p>
13	<p>【ベッド(福祉機器)】(静岡大学・森田ら)</p> <p>本発明の多面支持ベッドによれば、交差配置されたエアソール(中空体)の内圧を制御することができ、上端が工夫された多数のピンが配置されているので、このベッドに寝かされた人が、その体圧分布を測定した場合に、褥瘡発生部位の圧力を効果的に下げることができる。 審査請求(H20.01.28.)</p>	<p>(STLO-P-H17-21) 特願2005-270560 (H17年09月16日) 特開2007-075513 (H19年03月29日)</p>
14	<p>【色覚(色覚測定)】(元静岡県立大学・福田ら)</p> <p>本発明によれば、ディスプレイ上に表示できる色空間を利用して、色覚特性を簡単且つ定量的に測定でき、しかも被検査者が知覚的に自己評価することができる新システム(カラーマトリックス法)を提供する。 審査請求(H20.01.25.)</p>	<p>(STLO-P-H17-16) 特願2005-266813 (H17年09月14日) 特開2007-075339 (H19年03月29日)</p>
15	<p>【人体振動機(健康関係)】(静岡大学・森田ら)</p> <p>本発明によれば、自らの脚力によって得られた駆動力により、従来、知られていなかった『ねじり振動』を人体に与えて、特殊な回転運動を自力でさせることによって、複合的に健康を増進することができる人体振動装置(健康機器)を提供することができる。 審査請求(H20.02.18.)</p>	<p>(STLO-P-H17-15) 特願2004-247880 (H17年08月29日) 特開2007-061180 (H19年03月15日)</p>
16	<p>【靴の中敷(健康)】(静岡大学・森田ら)</p> <p>この発明の靴底用中敷を用いれば、歩行の際に、足裏への衝撃を吸収することができ、疲労感を減少させると共に、靴用中敷の各領域の空間部を順次流動する液体(水等)によって、足裏に対して好適なマッサージ効果を示す、履き心地のよい靴底用中敷(インソール)を提供することができる。 特許査定 特許第4057576号 (H19.12.21.) 本発明は、共同出願であり、共願人に対するライセンス条項がある。 県内外の企業5社と特許権許諾契約を締結した。</p>	<p>(STLO-P-H16-22) 特願2004-295860 (H16年10月08日) 特開2006-102342 (H18年04月20日) W02006/041006 (H18年04月20日) 特許第4057576号 (H19年12月21日)</p>
17	<p>【振動装置(健康機器)】(静岡大学・森田ら)</p> <p>本発明の人体振動装置は、人体の少なくとも1ヶ所(駆動部)に外部からねじり振動を与え、駆動部以外の人体の部分(振動部)に振動をひき起し、人体における駆動部と振動部との間の振動の位相差、振動部同士の振動の位相差、または振動部と振動しない部分との間の振動の位相差を生じさせて、人体に回転振動によるねじり運動をさせることができる健康器具である。 審査請求(H19.02.01.)</p>	<p>(STLO-P-H16-11) 特願2004-114943 (H16年04月09日) 特開2005-296765 (H17年10月27日)</p>
18	<p>【建築材料(建材関係)】(静岡大学・松尾)</p> <p>本発明によれば、新鮮な空気(外気)を各部屋の外から取り入れるという自然換気を生かすと共に、換気のために用いられた外気を天井裏などへ集めて、床下部屋へ供給して地熱交換を行い、その地熱交換された空気を壁内の通路などを経て天井裏などから排出するという『ワンパス方式の換気構造』を有するものであり、換気性、熱の調節性などが優れた快適な住宅を提供することができる。 本発明は、県内の住宅建設関係企業にライセンスを行った。 特許査定 特許第4049380号 (H19.12.07.)</p>	<p>(STLO-P-H15-38) 特願2003-407257 (H15年12月05日) 特開2005-163482 (H17年06月23日) 特許第4049380号 (H19年12月07日)</p>
19	<p>【人工内耳(福祉機器関係)】(静岡大学・北澤ら)</p> <p>本発明は、オーストラリアなどにおいて研究・開発されている『人口内耳』において、新しい音声変換方式を採用することによって、より自然な音声に近い電子データを被聴取者の人口内耳へ供給することができるシステムを提供することを目的としている。本発明の音声変換方法によれば、音声変換を短い時間で、多数の電気的なデータを被聴取者の人工内耳へ提供することができ、その結果、自然な音声に近いものを被聴取者へ提供できる。 特許査定(H21.3.27.) 特許第4295765号 (H21.07.15.)</p>	<p>(STLO-P-H15-10) 特願2003-206405 (H15年08月07日) 特願2005-512930 (H16年08月03日) W02005/013870 (H17年02月17日) 特許第4295765号 (H21年07月15日)</p>
20	<p>【ベッド(福祉機器)】(静岡大学・森田ら)</p> <p>褥瘡予防のため、縦横上下2段にエアセルを設置した空気圧制御多点支持ベッドユニットを開発し、血流を確保すると共に、局所の血流をさらによくする効果と皮膚の湿潤防止効果をも有する多点支持ベッドを提供する。 特許査定 特許第4212054号 (H20.11.14.)</p>	<p>(STLO-P-H13-01) 特願2001-47313 (H13年02月22日) 特開2002-238959 (H14年08月27日) 特許第4212054号 (H20年11月14日)</p>